

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

1-3月期の実質GDP成長率は前年比▲5.4%と、3四半期連続でマイナスとなった(第1図)。需要項目別に寄与度をみると、純輸出が同+3.0%ポイント(輸出は同▲4.7%、輸入は同▲16.0%)とプラス寄与となったが、新型コロナウイルスの感染抑止のための各種移動制限措置の影響で、個人消費(同▲5.0%ポイント)と総固定資本形成(同▲3.2%ポイント)はマイナス寄与が拡大した。

新型コロナウイルスの感染拡大、債務再編交渉の難航、農牧業の不振などの要因から足元の景気も悪化が続いている。アルゼンチンでは7月3日現在、感染者約7.3万人、死亡者約1.5千人の規模まで感染拡大が続いており、6月26日には感染者全体の9割を占めるブエノスアイレス首都圏を対象に、厳格な強制隔離措置を再適用する大統領令が発表された。また、5月に形式的なデフォルトに陥ったアルゼンチン国債の扱いについては、債権団と政府が7月24日の期限に向け交渉を継続しているものの先行きは予断を許さない。さらには、農牧業がバッタの大群によって甚大な被害を受け、足元では農務省が未承認農薬使用を一時的に許可する事態にまで状況が深刻化している。主要貿易相手国であるブラジルは6月下旬にアルゼンチン産小麦の輸入依存度の高さをリスクとして指摘し、メルコスール域外からの輸入拡大を示唆した。

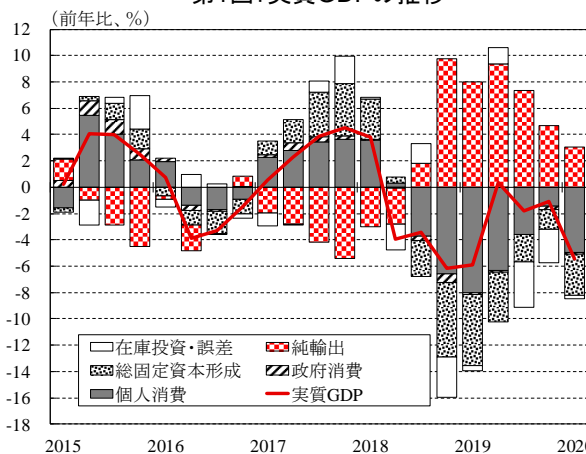
こうした情勢が嫌気され、為替レートは一段とペソ安が進行しており、資本流出リスクの高まりに加え、スタグフレーションが加速すると懸念される。世界銀行の最新見通しによると、2020年の実質GDP成長率は前年比▲7.3%、2021年は同+2.1%と予想されている。

2. 物価・雇用

物価: 5月の消費者物価上昇率は前年比+43.4%と、40%を上回るインフレ率が約2年にわたって継続している。

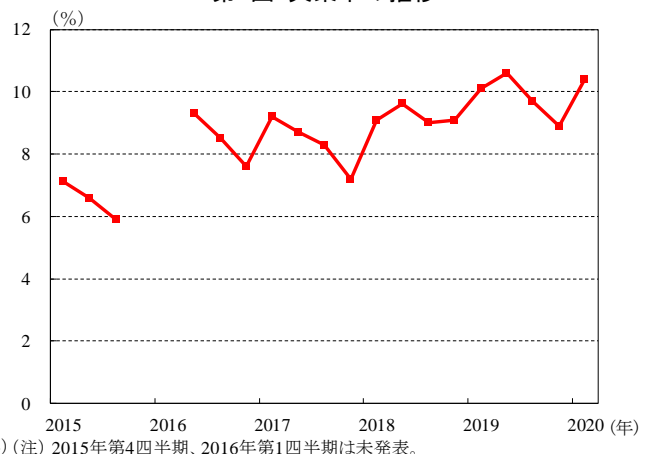
失業率: 1-3月期の失業率は10.4%と、前年同期と比べ+0.3%ポイント上昇した(第2図)。

第1図: 実質GDPの推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国通貨研究所作成

第2図: 失業率の推移



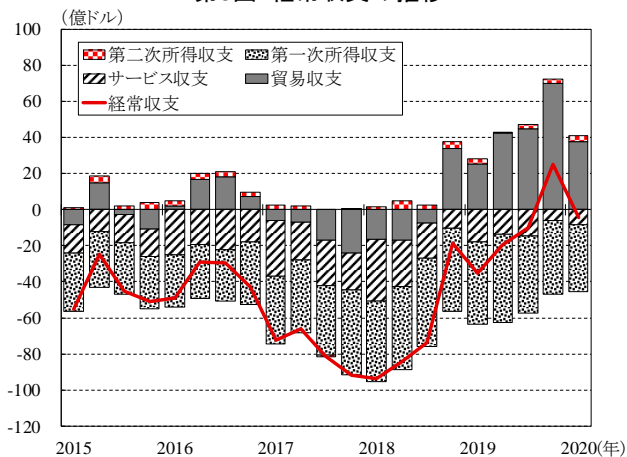
(注) 2015年第4四半期、2016年第1四半期は未発表。
(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. 経常収支・外貨準備高

経常収支: 1-3 月期の経常収支は▲4 億ドルと、2 四半期ぶりに赤字へ転じた(第 3 図)。

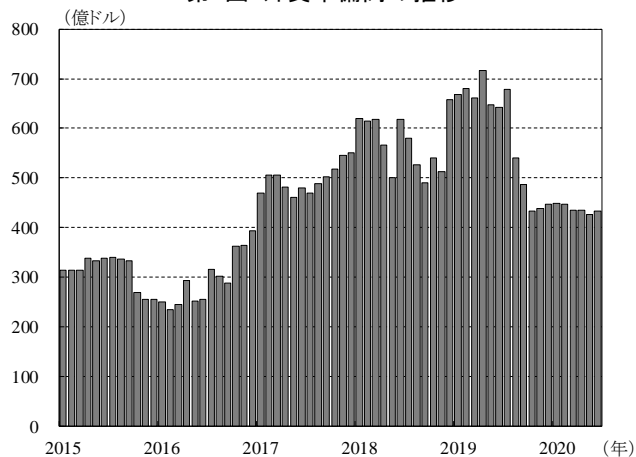
外貨準備高: 6 月の外貨準備高は 432 億ドルと、3 四半期にわたり対外債務の 20%を下回る水準で横這い推移しており、慢性的な外貨不足が継続していると言える(第 4 図)。

第3図: 経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

第4図: 外貨準備高の推移



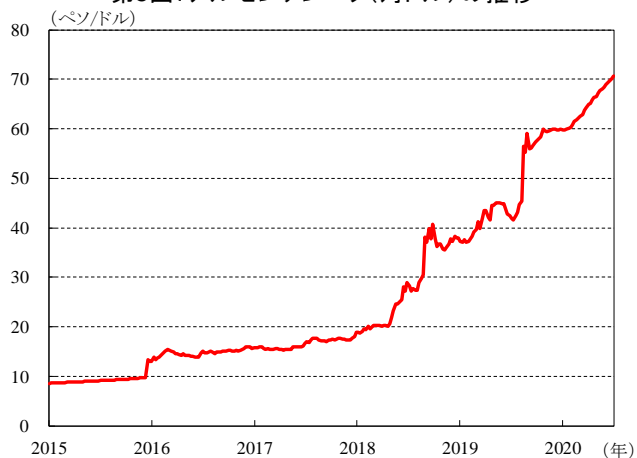
(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

4. 金融市場

為替: ペソの対ドル相場は、このところ史上最安値を更新し続けている。フェルナンデス政権発足(2019年12月)後は概ね1ドル=60ペソにて推移していたものの、新型コロナウイルス感染拡大と債務再編交渉の難航等が嫌気され、足元では1ドル=70ペソを超える水準まで下落している(第5図)。

株価: メルバル指数は3月に入り大きく軟化したものの、その後は持ち直し傾向にあり、足元では40,000ポイント前後で推移している(第6図)。

第5図: アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

第6図: 株価(メルバル指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	▲2.1%	2.8%	▲2.6%	▲2.1%
鉱工業活動指数(前年比)	▲4.5%	2.5%	▲4.6%	▲6.2%
建設活動指数(前年比)	▲13.8%	13.5%	1.9%	▲7.8%
自動車生産台数(千台)	473	472	467	316
自動車販売台数(千台)	721	884	682	372
失業率(年末期)	7.6%	7.2%	9.1%	8.9%
消費者信頼感指数	45.2	45.6	37.7	39.3
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	-	24.8%	47.6%	53.8%
(年平均)	40.7%	28.6%	36.3%	46.0%
輸出(FOB)(億ドル)	579	586	618	651
(前年比)	2.0%	1.3%	5.4%	5.4%
輸入(COF)(億ドル)	559	669	655	491
(前年比)	▲7.2%	19.8%	▲2.2%	▲25.0%
貿易収支(億ドル)	21	▲83	▲37	160
対外準備(億ドル)(年末)	393	551	658	448
ベースマネー(億ペソ)(年末)	8,217	10,011	14,090	18,954
対民間部門貸出量(億ペソ)(年末月)	11,246	17,012	23,238	28,237
(前年比)	31.0%	51.3%	36.6%	21.5%
経常収支(億ドル)	▲151	▲312	▲270	▲40
株価指数(メルバル指数)(年末)	16,918	30,066	30,293	41,671
対米ドル為替相場(年末)	15.83	18.83	37.66	59.87

2. 月次

	19年10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実質GDP成長率(前年比)	┌	▲1.1%	┐	┌	▲5.4%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	▲1.9%	▲4.3%	1.4%	▲0.3%	▲0.9%	▲16.5%	▲33.5%	-	-
建設活動指数(前年比)	▲9.5%	▲5.2%	▲6.4%	▲13.5%	▲22.1%	▲47.0%	▲75.6%	-	-
自動車生産台数(千台)	32	27	15	21	26	19	0	5	-
自動車販売台数(千台)	27	23	31	26	27	19	8	20	-
失業率	┌	8.9%	┐	┌	10.4%	┐	┌	-	┐
消費者信頼感指数	43.8	41.4	42.4	43.0	42.7	41.2	39.3	38.4	39.5
消費者物価上昇率(前年比) INDEC	50.5%	52.1%	53.8%	52.9%	50.3%	48.4%	45.6%	43.4%	-
輸出(FOB)(億ドル)	59	59	54	46	43	43	43	51	-
(前年比)	9.1%	10.1%	0.7%	▲0.6%	▲2.8%	▲15.7%	▲18.9%	▲16.3%	-
輸入(COF)(億ドル)	41	34	31	35	32	32	29	32	-
(前年比)	▲18.8%	▲21.9%	▲20.0%	▲16.1%	▲20.1%	▲19.7%	▲30.1%	▲31.8%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	18	25	22	10	11	12	14	19	-
対外準備(億ドル)	433	438	448	449	448	436	436	426	-
ベースマネー(億ペソ)	13,872	16,716	18,954	17,089	17,161	22,921	18,671	21,313	-
対民間部門貸出量(億ペソ)	27,818	27,753	28,237	28,094	28,349	29,452	30,350	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	25.18	┐	┌	▲4.44	┐	┌	-	┐
株価指数(メルバル指数)(月末)	34,995	34,500	41,671	40,105	34,973	24,384	32,743	37,825	-
対米ドル為替相場(月末)	59.78	59.92	59.87	60.33	62.21	64.39	66.77	68.48	-

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
川嶋 真奈 mana_kawashima@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。